

◎ 聴読解問題スクリプト

Track 4

練習 学生がコンピュータの画面を見ながら先生の説明を聞いています。学生は今、画面のどの項目を選べばいいですか。

えー、これから、この大学のコンピュータの使い方について説明します。では、コンピュータの画面を見てください。今日は、大まかな説明しかしませんが、もっと詳しいことを知りたい人は、右上の「利用の仕方」などを見ておいてください。ああ、今じゃなくて、あとで。あとで見ておいてください。今日はまず、コンピュータを使えるようにするために、利用者の登録をします。では、画面の左下の項目を選んでください。

Track 6

1 番 先生が授業で、議論の進め方について話しています。この先生は、どの部分が一番重要だと言っていますか。

新しい企画を考えるときのように、何かを生み出すためにグループで議論する場合、図のような4段階のプロセスを経ます。まず、参加者の情報共有です。グループとしての力を発揮するためには、全員が事情をよく理解しておく必要があります。次に、課題の解決に向けてどんどん意見を出してアイデアを広げていきます。ここでは、「質より量」を心がけてください。このようにしていくと、その後、いろいろアイデアは出たけれど、どれもそれぞれに問題があるというような行き詰った状態に陥ります。この過程は苦しいですが、不可欠なプロセスなのです。ここで議論を尽くし活路を探っていけば、あるときいつか、ずっと議論がまとまるときがきます。

こうしたプロセスの中で、最も大切なことは、参加者の知識レベルをそろえておくことです。事前に資料などを配って伝えたつもりでも、内容が正確かつ十分に伝わっていないと、会議の進行を妨げかねません。全員で資料を確認する時間をとるなどして、工夫するとよいでしょう。

Track 7

2 番 先生が授業で、評価の仕方について話しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

何かを評価するとき、一つの観点からだけではなく、別の観点からも評価してみると、場合によっては、全く異なる評価になることがあります。例えば、スピーチコンテストで、A、B、C、D、Eという五人のスピーチを評価する場合を考えてみましょう。この図は、五人のスピーチをある二つの観点から評価した結果を示したものです。

まず、第一の観点を「話し方」とすると、声のめりはりや視線の配り方などを中心に評価することができるとでしょう。この観点では、Dの評価が一番低く、Cが一番高いことになります。一方で、第二の観点を「内容」とすると、独自性やおもしろさ、話に深みがあるかといった基準で評価することができるとでしょう。今度はAが一番高い評価を受けたことになります。では、「話し方」という観点では評価が比較的高いのに、「内容」の観点では評価がかなり低く、二つの評価の点数が大きく異なる人がいますが、それは誰ですか。

3 番 先生が授業で、川に生息している魚の産卵状況を調べる調査について説明しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

ある川で、そこに棲むある種の魚が毎年順調に繁殖しているかどうかを調査するには、資料のような全長組成図を作成します。四角一つが一匹を表し、それぞれの長さの魚が何匹釣れたか、四角の数でわかるように表したものです。

資料にある組成図は、8月から9月に釣れた魚の結果ですが、15センチより小さいのは、その年の春に生まれた魚、すなわち0歳の魚で、15センチより大きいのは1歳以上の魚です。前の年に産卵が順調に行われたかどうかを知る方法としては、この組成図をもとに、釣れた魚全体の数に対する0歳魚の割合を計算します。それを例年と比較して、例年より低くなければ、順調に産卵が行われたと推測できます。

ただし、この方法が使えない場合があります。それは、例年に比べて、1歳、すなわち15センチ以上の魚の数が極端に少ないときです。このような年は、釣り人に多く釣られてしまった可能性があり、0歳魚の割合が高くなってしまいますので、0歳魚の割合を例年と比較する方法は使えません。では、資料の図が例年の様子を表すとしたら、例年と比較する方法が使えないのは、全長組成図がどのような場合ですか。

4 番 男子学生と女子学生が、健康診断について話しています。この男子学生は、いつ健康診断を受けると言っていますか。

男子学生：ねえ、健康診断の日程、見た？（紙の音）いつ行く？

女子学生：まだ決めてないけど……。今月中に健康診断書が必要だから、早めに行かないと。

男子学生：え、健康診断書って、すぐに作ってもらえないの？

女子学生：うん。受けてから1週間かかるって。

男子学生：そうなんだ。僕も今月中に必要なから、じゃあ初日に行こうかな。

女子学生：そういえば、前にカウンセリングを受けたいって言ってなかったっけ。この健康診断の期間中に専門のカウンセラーも来るんだよ。

男子学生：あ、本当だ。木曜日か……。ちょっと厳しいな。

女子学生：そう。じゃあ、栄養相談は？

男子学生：それは別に。まあ、カウンセリングは今回じゃなくてもいいから、とりあえず早めに行くことにするよ。

5 番 先生が授業で、城の石垣の作り方について話しています。この先生が最も高く評価している石垣は、どのタイプですか。

資料の絵のように、城の下の方の石が積まれた部分を、石垣といいます。石垣には、城の土台を石で固めて強くする、そして、敵から城を守るという二つの重要な役割があります。石垣は、その斜面の形から三つに分類されます。「下げ縄」は石がほぼ垂直に積まれるので、敵がここを登って攻めることは困難です。しかし、この積み方で高い石垣を作ると地盤へ

の負担が大きく、地震の多い日本では崩れやすいのが問題です。そこで高い石垣を安定させるために、傾きを緩やかにしたのが「たるみ」と呼ばれる積み方です。これなら石の重さが分散するので石垣は安定しますが、敵が登りやすいので、防衛という点では劣っています。「はねだし」は、下の方の傾きを緩やかにして、上の方には反りをつけた形です。この積み方だと、下の方は傾きが緩いので石垣が安定しますし、上の方の反りは石垣をよじ登ろうとする敵を寄せつけません。二つの要求を叶える理想的な石垣だと言えます。

Track 11

6 番 先生が、選挙で投票するかどうかに関するアンケート調査の結果について話しています。この先生は、投票率とアンケート調査の関係について、何と言っていますか。

これは、ある新聞社が選挙の際に行ったアンケート調査の結果です。選挙の前に、「あなたは今回の選挙で、投票に行きますか」と質問したところ、「必ず行く」または「なるべく行く」を合わせて、「行く」と答えた人の割合は、どの選挙でも、実際の投票率より高くなっています。また、このような傾向は、選挙後の「あなたは投票しましたか」という調査の結果にも見られます。選挙後ですから、皆が正直に答えれば実際の投票率に近い数値になるはずですが、調査では実際よりかなり高い数値になっています。これは、「投票はしなければいけないものだ」という社会規範があるために、投票しなかった人まで「投票した」と答えてしまう傾向があるのだと考えられます。

では、アンケート調査というものは、実際の行動を知るために全く参考にならないのでしょうか。この表の調査では「必ず行く」と答えた人の割合から、5～8%引くと、実際の投票率と同じぐらいになります。つまり、ずれがあるわけです。アンケート調査の数値は、そのままでは信じられるものではありませんが、このずれを考慮することで、数値から実際をある程度知ることができます。

Track 12

7 番 先生が、気象学の授業で、雷から身を守る方法について話しています。この先生が最後にする質問の答えは、図のどの部分ですか。

雷は、地上から上へ突出したものに落ちやすいという性質があります。そのため、雷が鳴っているときに、海辺や公園など、広々とした屋外にいるのは危険です。安全なのは、自動車や列車、しっかりとした建物の中などですが、もし雷が鳴り始めたときに屋外にいた場合、どうすればよいのでしょうか。実は、高さが5メートル以上の電柱や鉄塔などの物体には保護範囲と言われる場所があります。図1に示したように、高さが5メートルから30メートルの場合は、物体の高さと同じ長さだけ離れた場所から、物体の4メートル手前までが、比較的安全な場所とされています。物体から4メートル以上離れなければいけないのは、それより近づくと、物体に落ちた雷が人に飛び移ることがあるからです。ただし、図2のように、物体の高さが30メートル以上ある場合は、物体からの距離が30メートル以内で、物体の4メートル手前までが保護範囲となります。この範囲内でできるだけ小さくなってしゃがむとよいでしょう。

では、図3の、Aのような物体があったとき、この物体Aの保護範囲はどの部分ですか。

Track 13

8 番 先生が授業で、「遊びの4要素」について、図を見せながら説明しています。この先生が例として挙げた遊びが関連する三つの要素の組み合わせとして正しいものは、どれですか。

「人間にとって遊びとは何か」という本質的な問いのもとに遊びは四つの要素に分けられます。Aの「競争」というのはほとんどのスポーツが持つ要素です。Bの「模擬」は、自分ではないものの真似をしたり、ほかの人物のふりをしたりするものです。Cの「運」は、努力や意志が反映されない、偶然に左右される要素です。最後の「めまい」は身体的な揺れ、揺さぶりによって得られる楽しみです。遊びによっては、この四つの要素が組み合わさっているものもあります。さて、「警察と泥棒」という子供の遊びは、このうち三つの要素を持つと思うのですが、それはどれでしょうか。この遊びは、まず、じゃんけんをします。その結果にしたがって、子供たちは警察チームと泥棒チームにわかれて、警察になった子供が泥棒になった子供を追いかけ、時間内にどれだけ多くの泥棒を捕まえるか、競い合うのです。

Track 14

9 番 女子学生と男子学生が、資料を見ながら話しています。この男子学生は、これからどの習慣に気をつけたいと言っていますか。

女子学生：見て。これ、健康管理センターでもらったチェックシートなんだけど、日常の何気ない習慣が、口の中のどんなトラブルを引き起こすかがわかって便利だよ。今、何かトラブルがあるなら、その原因を見つけることもできるし。

男子学生：へえ。そういえば、僕は最近、歯の表面に汚れがつきやすくなった気がするな……。

女子学生：じゃあ、下から矢印をさかのぼって原因を探ってみようか。歯の汚れは……唾液が減って、口の中が乾燥することが原因みたいだね。

男子学生：でも、僕、口で呼吸はしてないよ。

女子学生：じゃあ、こっちだね。食べ物を噛む回数が少ないっていうほう。

男子学生：うーん、歯は悪くないから、小さく切ったりしないし、軟らかいものばかり食べてるわけでもないよ。

女子学生：もしかして、食事中に水やお茶をよく飲んでるんじゃない？

男子学生：あ、そうかも。

女子学生：原因はそれかもしれないよ。食べ物をよく噛まずに、水分といっしょに流し込んでいると、知らないうちに噛む回数が減ってしまうんだって。

男子学生：そっか、これからは気をつけよう。

Track 15

10番 先生が授業で、ダンゴムシを使った実験について話しています。この先生が、ダンゴムシが道具を使えるようになったと考えたのはどうしてですか。

ダンゴムシは目が見えないので、段差を下りるときは触角で下の段を探りながら下ります。図1を見てください。体長11ミリのダンゴムシなら、下りられる段差は、通常12ミリ

までです。そのため、触角の先が届かない15ミリの段差は下りません。そこで、図2のようにチューブをかぶせて触覚の長さを伸ばしてみたところ、チューブの先が届く15ミリの段差を下りました。次に、チューブをかぶせたダンゴムシを囲いの中に入れ、自由に歩かせて、チューブに慣れさせました。それから、15ミリの段差を下りるかどうかも一度調べてみると、チューブに慣れたダンゴムシは、触角につけたチューブが届くにもかかわらず、15ミリの段差を下りなくなりました。最初はチューブを触角だと思っていたのが、チューブに慣れると今度は、チューブを触角の届かない距離も測れる「道具」として使って、安全かどうかを判断するようになったと考えられます。

Track 16

11番 先生が授業で、屋上緑化によるヒートアイランド対策について話しています。この先生が特に注目しているのは、どの熱が減少することですか。

ヒートアイランドとは都心部の気温が郊外より高くなる現象です。この図は、高温化の緩和策としてビルやマンションなどの屋上に植物を植えた場合の、ビルの屋上における熱の出入りを概念的に表したものです。

太陽の日差しを受けると、ビルの表面が熱を蓄えて高温になり、その熱が大気へ放出されます。高温になったビルの表面の熱は建物の中にも伝わりますから、室内の冷房が必要になります。すると、屋外に置かれたエアコンの室外機からの人工排熱で、外気温度の上昇に拍車をかけます。

さて、植物を植えた場合の効果ですが、植物は熱を蓄えにくいので、屋上の表面温度があまり上がらず、放出される熱が少なくなります。しかし、こういった効果より私が注目しているのは、屋上緑化による断熱の効果です。まず、屋上の植物が断熱材の役割を果たし、建物内に伝わる熱が減少します。その結果、冷房の使用時間や設定温度が変わり、室外機が放出する熱も減少します。室外機の熱はかなりの高温ですから、この点も屋上緑化の見逃せない効果だと思います。

Track 17

12番 講師が、経営セミナーで、コスト削減について話しています。この講師の話によると、A社が電気代の次にコスト削減に取りかかったほうがよいのは表の中のどの項目ですか。

会社にとって、いかにコストを削減し、無駄を省くかは大きな課題です。資料をご覧ください。これは、A社のコスト削減の可能性を示した表です。コスト削減の対象となる具体的な項目ごとに、改善すべき内容が実行できるかどうか、二重丸、丸、三角の三段階で書き込まれています。

コスト削減には、二重丸が多い項目から取りかかるべきなのですが、この表を見ると、電気代は改善すべき内容のすべてに二重丸がついていますから、まずここから取りかかれればよいということは、明らかですね。では、次に取りかかる項目を決める際、二重丸の数と同じ場合はどうでしょう。実は、内容の欄は、効果の速さと大きさを考えた場合の優先順に上から並んでいるのです。したがって、この改善内容の優先順位に従い、確実に実行できるものから取りかかるのがよいでしょう。

◎ 聴解問題スクリプト

Track 20

練習 女子学生と男子学生が、山田さんとの待ち合わせについて話しています。この二人はこれからどうしますか。

女子学生：山田さんに電話した？

男子学生：うん。

女子学生：何だって？

男子学生：急用ができたから、ちょっと遅れるって。待ってるって言ったんだけど、先に行ってくれて。

女子学生：じゃ、そうする？ でも、山田さん、研究会の場所、知ってるのかな？

男子学生：どうだろう？

女子学生：また、電話してみたら？

男子学生：いや、大丈夫だよ。先にどうぞって言ったんだから。

女子学生：そう言ったのなら、大丈夫ね。

この二人はこれからどうしますか。

1. 山田さんを待ってから行く。
2. 山田さんに先に行ってもらう。
3. 山田さんに電話をする。
4. 山田さんより先に行く。

Track 22

13番 女子学生と男子学生が、大学の学生食堂の新しいシステムについて話しています。この女子学生は、新しいシステムのどんな点がいいと言っていますか。

女子学生：今度「学食パス」のシステムが導入されるの、知ってる？

男子学生：学食パス？ ああ、バスとか電車の運賃の支払いに使うカードが、学生食堂でも使えるようになるっていう、あれ？

女子学生：そう。インターネットの自分専用のページに食事の履歴とか栄養価が表示されるから、栄養バランスのチェックもできるんだって。

男子学生：へえ。じゃあ、栄養の偏りなんかを大学に指摘されたりするのかな？

女子学生：大学はそこまでしないよ。でも、パスワードを共有すれば、離れて暮らす親も子供がどんな食事をしてるか見られるんだって。

男子学生：親に食事内容が知られちゃうわけか。せっかく気ままな一人暮らしをしてるのに、ちゃんにご飯を食べなさいって、小言いわれそうだな。

女子学生：いいじゃない。学生はなかなか自分で栄養管理なんかしないから、私はすごくいいアイデアだと思うな。

この女子学生は、新しいシステムのどんな点がいいと言っていますか。

1. 学生が食堂を割引料金で利用できること

2. 親が学生の代わりに料金を支払えること
3. 大学が学生の栄養状態を管理できること
4. 親が学生の食生活を把握できること

Track 23

14番 先生が、ある町の新しい取り組みについて話しています。この先生は、この取り組みは、どのような効果を期待して行われていると言っていますか。

これからお話しするのは、ある町で始めた『農村体験ツアー』という取り組みについてです。その内容は、町の名所を紹介したり、農業現場を案内したり、地元野菜を使った料理を振舞ったりするものです。この町は人口約2,000人の4割以上が、65歳以上の高齢者で、町の地域開発の担当者たちは、特に若者の流出に頭を悩ませています。このツアーは、農村の素晴らしさを知ってもらえば、ここに住んでみたいと思う人が増えるのではないかというのがねらいで、参加者の評判も上々のようです。ツアーの企画担当者は、今後は農家での宿泊体験を盛り込むなどして内容をさらに充実させ、過疎化に歯止めをかけたいと考えているそうです。

この先生は、この取り組みは、どのような効果を期待して行われていると言っていますか。

1. 宿泊体験を通じて高齢者と若者の交流が深まること
2. レストランで地元の野菜が使われるようになること
3. 人々が他の土地から移住してくること
4. 名所や、名産品が評判になり観光客が増えること

Track 24

15番 先生が、心理学の授業で、話しています。この先生は、気分が落ち込んだとき、どうしたら気持ちが楽になると言っていますか。

例えば、夜眠れなくて困っている人がいたとします。そういう人は、「早く寝なければ」という思いが強いために、かえって眠れなくなることが多いのです。そこで医者は、「無理に眠ろうとしなくてもいいんですよ」と指導します。そうすると、眠りに対する執着心を忘れることができます。心も体もリラックスできるので、自然と眠りにつけるのです。この方法は、何かで落ち込んでしまったときにも有効です。「落ち込んではいけない」と焦っても立ち直れず、「自分はだめな人間だ」と余計に気持ちがふさいでしまうことはありませんか。そんなときは、「このままでいいんだ」と開きなおってみると、意外と気持ちが楽になるのです。

この先生は、気分が落ち込んだとき、どうしたら気持ちが楽になると言っていますか。

1. 落ち込んでいる自分を受け入れる。
2. 十分な睡眠をとる。
3. 医者に相談する。
4. 何か別のことに打ち込む。

16番 女子学生と男子学生が、レポートについて話しています。この女子学生は、レポートをいつ提出しますか。

女子学生：おはよう。

男子学生：おはよう。あ、レポートのこと聞いた？

女子学生：え？ 水曜の授業の？ 来週提出のでしょ？

男子学生：そう思ってたでしょ、やっぱり。

女子学生：えっ？ 違うの？

男子学生：本当は、今週の授業のときに提出しなきゃいけないんだって。

女子学生：ええ、どうしよう。

男子学生：でも、締め切りが徹底してなかったようだから、金曜日までなら待ってくれるんだって。

女子学生：ほんと？ よかった。でも、今日が火曜日でしょ、金曜日は課外ゼミで学校に来られないから、あさって出さなくちゃ。田中君は？

男子学生：僕は締め切りぎりぎりまでかかりそうだよ。

この女子学生は、レポートをいつ提出しますか。

1. 今週の水曜日
2. 今週の木曜日
3. 来週の水曜日
4. 来週の金曜日

17番 先生が、生物学の授業で、深海魚について話しています。この先生は、水族館で深海魚を飼うときのどんな工夫について話していますか。

みなさんは水族館で、深海魚を見たことがありますか。深海魚とは名前の通り、深い海に棲む魚のことです。深海というのは一般的に200メートルより深い海のことです。太陽の光も届かない真っ暗な世界です。また深くなればなるほど、周りの海水から押される水圧が高くなります。さて、魚の多くは水中で浮力を得るために、体の中に気体の詰まった浮袋を持っています。水圧の高い深海から魚を引き上げると、水圧の大きな変化によってこの浮袋が膨らんで、弱ってしまうことがあります。それで、水族館では、引き上げられたときに膨れてしまった浮袋の中の気体を、注射針で抜いているんです。こうすれば、低い水圧に魚の体が適応するので、水族館の普通の水圧の水槽でも飼育できるようになるのです。

この先生は、水族館で深海魚を飼うときのどんな工夫について話していますか。

1. 水槽の水圧を高くすること
2. 弱った魚に薬を注射して治療すること
3. 魚の浮袋を取り除くこと
4. 魚の体内にたまっている気体を減らすこと

18番 男子学生が、卒論のテーマについて、先生に相談しています。この先生は、男子学生にどんなアドバイスをしましたか。

男子学生：先生、卒論のテーマのことなんですが、小栗忠順という幕末に活躍した武士をテーマにしようかと思うんです。

先生：それはどうしてですか。

男子学生：最近、この武士を主人公にした小説を読んで、素晴らしい人だと思ったので、その生涯をまとめてみたいと思ったんです。

先生：あ、そうですか。でも、生涯をまとめただけでは、論文とは言えませんよ。

男子学生：はあ……。

先生：まず、その人物について、今までにどのような研究がされ、どのような議論がされてきたか調べてください。それらを検討することを通して、あなた自身の考えを述べていないと論文とは言えないんです。そう簡単なことではありませんよ。

この先生は、男子学生にどんなアドバイスをしましたか。

1. この人物の生涯を詳細にまとめていくように言った。
2. この人物が生きた時代のことを詳しく調べるように言った。
3. 読んだ小説の話の流れをまとめるように言った。
4. 従来の研究を検討して自分の考えを書くように言った。

19番 先生が、水質の違いと食文化について話しています。この先生は、飲み水が軟水の地域の食文化には、どのような特徴があると言っていますか。

水は、成分の違いによって大きく二つのタイプに分けられます。日本で飲まれるものの大半は軟水で、ヨーロッパで飲まれるものの多くは硬水です。この二つの水の違いは、食文化にも大きくかわります。まず、軟水というのは、食材からのうまみ、つまり、おいしい成分を水によく溶かし出すのが特徴です。これを利用したのが、昆布などを煮て、うまみ成分たっぷりの出汁と呼ばれるスープをとることを基本とした日本食の文化です。一方、硬水を料理に利用しようとする、うまみ成分が溶け出しにくく、軟水のようにはいきません。そこで、ヨーロッパなどでは、煮るよりも、蒸したり、焼いたり、炒めたりといった、食材自体に含まれる水分を生かした調理法が発達しました。

この先生は、飲み水が軟水の地域の食文化には、どのような特徴があると言っていますか。

1. 食品のうまみ成分を溶かし出す料理が多い。
2. 蒸したり焼いたりする料理が多い。
3. 食材自体の水分を生かした料理が多い。
4. 飲み水に含まれるうまみ成分を利用した料理が多い。

20番 先生が、建築学の授業で、現代に合った建築のあり方について話しています。この先生は、これからはどうすることが必要だと言っていますか。

「建築」と聞くと新しく建物を建てることをイメージする人が多いと思います。しかし、現代の状況に照らし合わせると、建物を建てることばかりを考えてもいられません。例えば、新しい建物を建てるために古い建物を壊すと、壊した建物の建築材料がゴミとなりますが、そのゴミの処理が、今大きな問題となっているのです。

したがってこれからは、現在人が住んでいる建物や使っている建物に手を加えていく、「建築再生」の時代になると言えるでしょう。新しい家は気持ちがいいですが、もともとあるものに少し手を加えることでも、十分快適な家にすることができるのです。

この先生は、これからはどうすることが必要だと言っていますか。

1. 今ある建物を部分的に作りかえること
2. 住む人の希望に合わせた建物を建てること
3. 古い建物を壊して新しい建物を建てること
4. 新しい建築材料を開発すること

21番 男子学生と女子学生が、履修した授業について話しています。この女子学生は、自分にはこの授業のどんな点が一番よかったと言っていますか。

男子学生：ねえ、確か前期に田中先生の授業、取ってたよね。

女子学生：うん。

男子学生：僕も後期に、取ろうかと思ってるんだけど、どうだった？

女子学生：そうね、レポートは毎週だし、学生が少ないから、発表も月に一度は回ってきたし、大変ではあったよ。

男子学生：そうか。

女子学生：でも、鍛えられたって言ってる人も多いよ。毎週、課題でレポートを提出しなくちゃいけないから、レポートを書くのが得意になったって人もいるし、発表を何回もするから、人前で話すのが苦手だった人も、学期の終わりごろには、緊張しなくなったって言ってるしね。

男子学生：そうなんだ。

女子学生：私は、自分の専門に関する基本的な文献を、とにかくたくさん読めたのがありがたかったなあ。授業についていくために、必死になって読んだから、卒業論文の下準備ができたの。これは本当によかったよ。

男子学生：そうか。大変そうだけど、頑張って取ってみようかな。

この女子学生は、自分にはこの授業のどんな点が一番よかったと言っていますか。

1. 他の人の発表が聞けたこと
2. レポートを書くのに慣れたこと

3. 何回も発表ができたこと
4. 多くの文献が読めたこと

Track 31

22番 ラジオのアナウンサーが、「アジア・ライブラリー」という図書館について説明しています。この図書館が利用できるのはどんな人ですか。

今日は、私たちの町に新しくできた、珍しい図書館をご紹介します。この図書館は、「アジア・ライブラリー」といって、アジアの国々のことをもっとよく理解しようという市民運動から生まれた図書館です。本の大部分は一般市民から寄付された本で、国内はもちろん、外国へも貸し出しサービスを行っています。夜は、アジア各国の言葉が勉強できる語学教室も開かれていて、利用者は増える一方です。ただ、この図書館は今のところ会員制になっていますので、誰でもすぐに利用できるというわけではありません。この図書館に関心のある方、利用したい方は、電話でお問い合わせになるか、または、ホームページで利用案内をご覧ください。

この図書館が利用できるのはどんな人ですか。

1. この町の住民すべて
2. ホームページを見た人すべて
3. この図書館の会員になった人すべて
4. アジアの国の人すべて

Track 32

23番 女子学生と男子学生が、カエルの調査について話しています。この男子学生は、この調査で何がわかると言っていますか。

女子学生：カエルの調査って、どんなことをしてるの？

男子学生：夜に鳴き声がしてるかどうか、毎日録音してるんだ。

女子学生：え、鳴き声？

男子学生：そう、繁殖期に入るとオスがメスを呼ぶために鳴き始めるんだ。

女子学生：へえ。カエルの産卵行動や卵の数を確認したりするんじゃないんだね。

男子学生：うん。

女子学生：でも、毎晩録音しに出かけたりするのも大変だね。

男子学生：いや、毎晩自動録音できるようにセットしてあるから、出かける必要はないんだ。毎日のデータを調べていくと、どの日からどの日まで鳴いていたかがわかるだろ。

女子学生：ああ、なるほどね。

この男子学生は、この調査で、何がわかると言っていますか。

1. 繁殖期に入ったカエルの数
2. カエルの繁殖の時期

3. カエルが産卵した卵の数
4. カエルの産卵時間の長さ

Track 33

24番 先生が、情報化社会におけるある教育方法について話しています。この先生が話しているこの教育方法の短所はどんなことですか。

情報ネットワークを活用した通信教育は、郵送された印刷物やコンピュータを使って学べる学習方法です。学校へ行かなくても勉強が可能なため、社会人や主婦、高齢者に適した方法だと言われています。学ぶ時間や、学習のやり方などを自分で決めて、自分のペースで学習できるからです。

しかし、その反面、学習内容に強い関心を持ち、自己管理ができる人でなければ、成果をあげるのが難しいようです。時間や場所を問わないということはその分学習者は孤立していることになりますし、また、自分で決められるということは自分で決めなければならないということでもあるからです。

この先生が話しているこの教育方法の短所はどんなことですか。

1. 学習者に主体性がないと学習効果が出にくいこと
2. 学習者が学習を軽く考えがちなこと
3. 学習者の考え方が偏りやすいこと
4. 教師が学習者の学習状況を管理しにくいこと

Track 34

25番 先生が、歴史的な価値のある古い工場について説明しています。この先生は、工場の建物がそのまま残っているのはどうしてだと言っていますか。

この工場は、明治時代の日本の工業化や近代化を象徴する施設として、創業当時の姿のままで保存されています。

この工場は、もともと官営模範工場、つまり国が他のお手本となるように作った工場だったのですが、経営状態が思わしくなかったため、まもなく民間企業に払い下げられました。それ以降、工場の敷地は、企業の私有地となり、基本的には関係者以外は立ち入り禁止になりました。敷地はぐると塀で囲まれ、近所の住民でさえ、塀の中を見たことがないというほどでした。また、企業の人々が、厳重な管理の下で工場を丁寧に使い続けたことに加え、工場での生産を停止したあとも建物の保存に力を注いだおかげで、この工場は当時のままの貴重な建物として残ったのです。

この先生は、工場の建物がそのまま残っているのはどうしてだと言っていますか。

1. 国の財産として、国に厳しく管理されていたから
2. 創業後すぐに倒産したために、人々から忘れられていたから
3. 民間企業が、大切な建物として守り続けてきたから
4. 近くに住む住民が、建物の保護を呼びかけたから

26番 先生が、農学の授業で、作物の育て方について話しています。この先生は、害虫が作物につきやすいのはどんなときだと言っていますか。

作物を元気に育てるためには、害虫対策は欠かせません。害虫がついてしまう原因は色々ありますが、肥料や水分の量は重要なポイントです。肥料は、元気な作物を育てるためになくてはならないものですが、必要以上に与えると、使われなかった余分な成分が、葉の裏や、体の節々から吐き出されます。すると、害虫が、そうした成分に引かれて寄って来るのです。また、肥料の量は適切でも、水やりを怠ってしまうと、同じような現象がおこります。作物自体の水分量が少なくなると、体内の肥料濃度が濃くなってしまい、過剰の成分を外に排出してしまうからです。害虫を防ぐためには、作物の様子をしっかりと見て、肥料や水分の最適な量を常に考えることが重要なのです。

この先生は、害虫が作物につきやすいのはどんなときだと言っていますか。

1. 肥料が多すぎたり、水分が不足したりしたとき
2. 肥料が不足したり、水分が多すぎたりしたとき
3. 肥料と水分が不足したとき
4. 肥料と水分が多すぎたとき

27番 先生が、増えすぎた野生動物の管理について説明しています。この先生は、野生動物をどのくらい捕獲するかは、何を基準に決めるのがよいと言っていますか。

最近、シカなどの野生動物の数が増えすぎて、農作物を食い荒らす被害が問題になっています。ただ、野生動物の数の管理というのはとても難しいことです。相手は逃げたり隠れたりするので、狩りを行う人から、山で1頭のシカを見たという目撃情報があったとしても、その山全体に何頭いるのかは見当もつかないのです。でも、実は山での野生動物の目撃件数が増えると、農業被害の件数も増えることがわかっています。ということは、目撃数が一定数以下になるまで野生動物を捕獲すれば、農業被害も少なくなるはずです。つまり、野生動物の目撃件数をもとに、捕獲の目標数を計算し、その目標数を達成するまで捕獲を行うと、深刻な農業被害を防ぐことができるようになるのです。

この先生は、野生動物をどのくらい捕獲するかは、何を基準に決めるのがよいと言っていますか。

1. 野生動物の狩りを行う人の数
2. 目撃された野生動物の数
3. 生息している野生動物の正確な数
4. 野生動物の種類の数